



# 新年のご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



新年おめでとう御座います。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年、実は大変な混乱と変化の大きな年でした。世界経済不況の嵐が吹き荒れて、日本を代表する優良企業と思われていた大企業でさえ、相次いで赤字、整理、企業統合、などがおこなわれ、全国的に失業者が増加し、新卒者の就職も厳しい状況にあります。新型インフルエンザも

現れました。さらに国政選挙におけるなだれ現象といえるほどの政権交代がありました。この困難な時局に時代を切り拓く卓越した判断、指導力が強く求められております。

国際的にもいまだに戦争状態継続の地域がある一方、長引く経済不況、待たなしの環境汚染、資源偏在、貧困と格差、感染症対策など、国際協力なくしては解決しえない大きな課題が数多く存在しており、まさに人類の英知が試されているという感じが致します。

一方、母校新潟高校野球部が秋の新チームの大会である甲子園準優勝の日本文理高校を破り、新潟県大会二位で久々に北信越大会に出場という喜ばしいニュースもありました。北信越大会では残念ながら破れてしま

いましたが、春の甲子園大会に21世紀枠で出場の期待も持てるとの情報もあり、楽しみにいたしております。

第六回となった青山学術文化講演会は73回の高エネルギー加速器研究機構構長の鈴木厚人氏と76回の新潟大学大学院歯学総合研究科法医学分野教授の山内春夫氏(本同窓会副会長)による講演でした。詳細は本会報記事にあります。お二方もむづかしい専門分野のお話を大変分かりやすく語っていただきました。特に素粒子の話はノーベル賞の対象になるような研究分野の内容であり、まさにまたとない講演会であったと思います。ご多忙のなか、快く講演をお引き受け下さったご両氏に深く感謝申し上げます。

まさに多士済々の同窓生です。どうか本年も会員各位のご健勝とご活躍そして幸多き年でありませうと祈念申し上げます。

《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635

新潟県立新潟高等学校内

TEL 025-266-5268

FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

株式会社第一印刷所

〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18

TEL 025-285-7161

FAX 025-282-1776

## 青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 長谷川義明

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと存じます。開催要領は下記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたく存じます。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：TEL/FAX 025-266-5268

電子メールアドレス niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

### 記

日時：平成 22 年 2 月 17 日 (水)

受付 午後 6 時

《新年会は生徒の吹奏楽の演奏はありません》

開宴 午後 6 時 30 分

会場：ホテルオークラ新潟

TEL 025-224-6111

会費：6,000 円

## 青山同窓会総会のお知らせ (予定)

日時：平成 22 年 7 月 16 日 (金)

受付 午後 5 時 30 分

吹奏楽部演奏 午後 5 時 40 分

総会 午後 6 時

懇親会 午後 6 時 30 分

会場：ホテルオークラ新潟

TEL 025-224-6111

会費：6,000 円

※会場が変わりました。

# 新年の挨拶

参議院議員

佐藤 信秋 (74回)



トキめき新潟大会(第9回)全国障害者スポーツ大会が開催され、県内各地で連日熱戦が繰り広げられ、多くの感動と思い出を残したと思います。また、NHK大河ドラマ「天地人」では、舞台が主に新潟となり、多くの観光客が新潟を訪れました。

今年こそ良い年に、と誰もが強く思うところでありました。特に我らがふる里、新潟の場合、平成十六年の水害、中越地震、十八年の中越沖地震と災害が続き、貴重な人命、財産が奪われました。二〇一四年問題として

北陸新幹線開業により、新潟の拠点性減少も懸念されています。だからこそ、災害から力強く復興し、住んでよし、訪れてよし、の新潟を一層目指す必要があります。

明治の初期、新潟の人口が全国一であったことは良く知られていることですが、国税収入もナンパーワンだった時期があることは、意外と知られていません。地租が主だった頃は、新潟をはじめ、日本海側の穀倉地帯が多く、税を収めて、近代日本

の殖産興業や交通ネットワークの整備を担いました。雪が厳しい気象も影響し、近代産業の発達が遅れ、雇用の場が少なく、大都会へ人材を供給するともに、財貨も供給してきた訳です。これからは環日本海の時代です。その一大拠点として、応援歌「ますらお」のように元氣良く、新潟アズナンパーワンを目指し、アルビレックスのように魅力を掘り出し、つくり出し、数多く発信して行きたいものです。皆様にとつて、またふる里新潟にとつても、今年こそ明るい、幸い多き年となるようお祈り申し上げます。

# 青山同窓会の皆様への新年の挨拶

衆議院議員

鷲尾 英一郎 (103回)



あけましておめでとうございます。青山同窓会の皆様には平素より格別のご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

本年も旧年中同様のご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。



さて、昨年八月三十日の第45回衆議院総選挙において民主党による政権交代が実現いたしました。私も民主党公認として新潟2区より出馬し、12万2千票余を頂戴し小選挙区で当選させて頂きました。青山同窓会の皆様に重ねて御礼を申し上げますが、私事ではあります。残念ながら、政務三役を始めとする内閣の一端を担うということにはなりません。しかし、国会において議院運営委員

会理事、安全保障委員会、拉致対策特別委員会委員を拝命し、目下全力を傾注して役責を果たすべく邁進しております。

今回の政権交代は、国民生活の疲弊、社会の閉塞感、将来への不安が余りにも増大し、政治が国民へ真に説得的なビジョンを打ち出すことができなかつたことにある、と考えております。したがって、総選挙の結果は、自民党政権なるものへの否定ではあつても民主党政権への信任ではないということも重々承知しております。

しかし、あの時、政権交代が実現したからこそ、日本が復活した、日本が再生したのだ、と後世言われるよう、歴史の批判に耐えうる政権運営をして参りたいと思ひます。

さて、民主党政権が充足して三か月余が経過しておりますが、この間、足もとの経済状況は悪化の一途を辿っております。目下の日本の現状は、かなり悲観的な材料が多いと言わざるを得ません。

まず、諸悪の根源が少子化で

す。日本は先進国最悪の超高齢化社会を迎えており、社会保障費の伸びは毎年一兆円に上ります。一方で財政も極度に悪化しております。国債残高は先進国最悪の八〇〇兆円余に上ります。これだけみても金利上昇のリスクは高まっております。それなのに、景気対策はまったなし。新潟の有効求人倍率は今年、調査開始後最低を記録し(0.43)全国平均より更に低くなっております。円高が進んでおり、為替への介入を考えなければならぬ水準です。したがって財政需要は増大してまいります。

だからこそ、今、環境産業です。環境産業の育成が環境技術の技術革新を生み、それが、地方の里山を含む農村地域を守り、技術輸出が日本全体の富に繋がるはずで

内外の諸情勢は極めて厳しい状況であります。国家国民の為、青陵健児の名を汚すことなく国政にあたつてまいることをお誓ひ申しあげ、新年の挨拶といたします。

まず、諸悪の根源が少子化で



# 「地域主権時代を先導する心意気で」

新潟市長

篠田 昭 (75回)



青山の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

新潟市が政令指定都市に移行して三年目となりました。この間、中越沖地震や世界金融危機など予期せぬ厳しい事態も起きましたが、十五市町村が大同団結してつくり上げた政令市という「大きな船」で時代の荒波を乗り切っています。

昨年は全国の地方が大変厳しい経済環境におかれる中、新潟には他にはない追い風も吹いた一年でした。NHK大河ドラマで越後を舞台にした「天地人」が放映されたことや、JR各社が「新潟に出かけましょう」と呼び掛けるアステイションキャンペーンを十月から年末まで開催いただいたことを受けて、県とともに昨年を「大観光

交流年」と位置づけて「行ってみたいまち・いがた」に向け、大きな一歩を踏み出しました。

市としては独自の大型企画「水と土の芸術祭」を七月十八日から十二月二十七日まで開催しました。日本一の大河・信濃川、それに次ぐ日本第二位の水量を持つ阿賀野川という二つの母なる川から育てられた新潟市は、まさに「水と土の王国」です。素晴らしい「水と土の暮らし文化」があることを、市内全域に設置された野外アートを訪ね歩くことで実感いただけたと思います。

芸術祭についてはさまざまな意見もいただきましたが、参加者は予測を大きく上回り、「市民が主役」「地域が主役」の芸術祭になったと思います。今後は「水と土の文化創造都市」として、さらに地域文化が薫るまちをつくってまいります。

また、夏の甲子園では日本文化高校野球部が県勢では初の準優勝に輝きました。九回二死からの猛反撃が全国からの称賛を浴びました。この勢いを借りて、

秋のトキめき新潟国体、トキめき新潟大会というビッグイベントも大成を取めました。ボランティアなどご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

一方で、日本の国づくりは昨年新たな段階を迎えました。本格的な政権交代によって誕生した鳩山政権は、「地域主権時代の実現」を政権が最も大切にす

る「1丁目1番地」政策に据え、「地域主権時代の担い手は基礎自治体(市町村)」との方向を明確に打ち出しています。

鳩山政権の個別施策にはまだ評価の難しいものも多く、新年度予算の編成も従来方式から大きく変わり、大変難渋しています。しかし、基礎自治体中心の地域主権時代を求めてきた一人として、鳩山政権の諸施策が地方に有効に機能するよう、できる限りの政策提言・提起を行っていきます。先の見えにくい時代ではありますが、「ずっと安心に暮らせる新潟」を目指して、市民力、地域力を結集していきます。ご協力をお願いいたします。

## 同窓会総会報告

### 青山同窓会副会長という重み

山内 春夫 (76回)



旅行に二回飛び出した以外は、新潟島を離れたことのない、「井の中の蛙」と言えます。法医学という仕事では、父と同じ道を歩くことになり、多くの方々から応援して頂いております。また、青山の先輩でもある、丹羽先生から、新潟県野球連盟会長を引き継いでもうすぐ二十年になります。さらに、(助)新潟市体育協会副会長という、自分でも信じられないようなところに名を連

### お世話になりました。

石田 瑞穂 (67回)



嘱され、長谷川義明会長には副会長を委嘱され、身に余る光栄と恐縮しながら、勤めてまいりました。

その間、両会長はじめ会員各位には大変お世話になりました。改めて感謝とお礼を申し上げます。先輩各位の励ましや、後輩各位のサポートに青山同窓会の素晴らしさを改めて感じました。

夏の前副会長を退任いたしました。上村光司前会長に幹事長を委



在任中の思い出には、青山同窓会の関西支部発足がありま  
す。発会式で、「四十年ぶりに  
校歌と、丈夫を歌って涙が出た  
よ」と話された大先輩の言葉。  
以来、関西青山同窓会も若い  
幹事諸君の献身で毎年会を重ね  
ております。また一〇周年記  
念式典において、記念講演講師  
が、同窓生以外の講師に先決（一  
人に）、先輩諸兄からクレーム  
が出た時、（今まではすべて同  
窓生が講師でした。）あとから  
の無理なお願ひにもかかわら  
ず、「わかりました」と二本立  
て講師を快く引き受けて下さっ

た、佐藤幸治先輩（64回）、京都  
大学教授、関西青山同窓会会長  
（当時）には感謝の言葉もあり  
ません。  
また、長谷川会長の下で、県  
内高校同窓会長懇談会のお膳立  
てをさせていただき、その席で、  
同窓会総会に毎年七〇〇人も集  
まる新潟高校（青山同窓会）が  
羨ましいと他校から言われたこ  
となど、思い出します。

よき上司（会長）のもとで、  
楽しく過ごさせていただいた時  
間を懐かしく思い出していま  
す。ありがとうございました。

**平成二十一年度青山同窓会総会**

現職員 畔柳 順一（90回）

昨年七月十日（金）、同窓会

総会がANAクラウンプラザホ  
テル新潟を会場に開催され、今  
回も出席者六百二十七名を数え  
る盛会となりました。

当日は朝から激しい雨の降る  
生憎の天候でしたが、同窓会開  
会の頃には雨も止み、再会を喜  
ぶ同窓生たちの晴れやかな笑顔  
がホテルのロビーに満ち溢れま  
した。

総会に先立ち、本校吹奏楽部  
員によるミニ・コンサートが行  
われ、『天地人』のオープニン  
グテーマ等が、出席者の皆様に

お迎えしました。  
総会は富山修一幹事長（75回）  
の司会のもと、長谷川義明同窓  
会長（61回）・大滝祐幸校長の  
挨拶、栗林貞一東京青山同窓会  
前会長・現名誉会長（59回）他  
の来賓紹介、新潟県立大学長の  
猪口孝東京青山同窓会長（70回）  
の挨拶、今回初めて関西からご  
出席いただきました渡辺操関西  
青山同窓会長（66回）の挨拶を  
それぞれいただいた後、議事が  
進められました。改選期に当た  
る今年役員改選も行われまし  
たが、「会長一任」の声も上

がり、長谷川会長の留任、山内  
副会長（76回）の新任など、満  
場の拍手をもって承認されまし  
た。  
続く懇親会は、栗原道平実行  
委員長（82回）の開会宣言の後、  
早川祐子さん（91回）の司会で  
進みました。

長谷川会長挨拶、来賓の吉田  
六左門前衆議院議員（66回）・  
篠田昭新潟市長（75回）からも  
「厳しきときに頑張るのが青山  
魂」とのご挨拶をいただきました  
。続いて佐藤信秋参議院議員  
（74回）からのメッセージ披露  
の後、五十嵐風さん（81回）の  
指揮、君英夫さん（67回）のピ  
アノ伴奏で、旧校歌「新潟中学  
校校歌」と新校歌「新潟高等学  
校校歌」が斉唱されました。

上村光司前会長（50回）のご  
発声で乾杯、その後はにぎやか  
に歓談がスタートしました。  
宴たけなわの中、PRタイム  
では中野久さん（71回）（プロ  
野球オールスターゲーム）・神  
田剛さん（81回）（水と土の芸  
術祭）・池田美也子さん（90回）  
（日本画個展）・帆刈千春さん  
（108回）（第18代ボートクイーン）  
の紹介がそれぞれ行われまし  
た。

また、最多出席者の表彰は、  
三十九名出席の65回が輝き、続  
く62回（二十八名）・63回（二十五  
名）・60回（二十四名）がそれ  
ぞれ出席優秀の表彰を受けまし  
た。

さらに、「お楽しみ抽選会」  
ではボートクイーン帆刈さんに  
より抽選が行われ、当選者には  
清酒「鶴の友」などのプレゼン  
トが渡され、大いに盛り上がり  
ました。

終盤には行田充元応援団長

平成二十一年十一月十三日  
（金）、ANAインターコンチネ  
ンタルホテル東京において平成  
二十一年度東京青山同窓会総会  
が開催されました。総会には46  
回から17回までの七十四名の



また、最多出席者の表彰は、  
三十九名出席の65回が輝き、続  
く62回（二十八名）・63回（二十五  
名）・60回（二十四名）がそれ  
ぞれ出席優秀の表彰を受けまし  
た。

さらに、「お楽しみ抽選会」  
ではボートクイーン帆刈さんに  
より抽選が行われ、当選者には  
清酒「鶴の友」などのプレゼン  
トが渡され、大いに盛り上がり  
ました。

終盤には行田充元応援団長

平成二十一年十一月十三日  
（金）、ANAインターコンチネ  
ンタルホテル東京において平成  
二十一年度東京青山同窓会総会  
が開催されました。総会には46  
回から17回までの七十四名の

**平成二十一年度東京青山同窓会総会報告**

鈴木 広樹（98回）

他、新潟からも長谷川義明青山  
同窓会会長（61回）、大滝祐幸  
新潟高校校長、同窓職員である  
櫻井麻利子先生（94回）にご出  
席頂きました。  
関佑樹学年幹事（113回）の司

会による第一部は太田裕東京青  
山同窓会副会長（71回）のご挨拶  
により始まりました。太田副  
会長は猪口孝東京青山同窓会会  
長（70回）からのメッセージも  
伝えられたのですが、それは、  
同窓が集うだけでなく、新潟そ  
して日本の再生へ向けて力を結  
集できる場に東京青山同窓会を  
今後していきたいというもので  
した。

日下部朋子事務局長（82回）  
による会務報告と佐藤茂会計幹  
事（77回）による会計報告が行  
われた後、長谷川会長と大滝校  
長からお話をお聞きしました。  
長谷川会長は、新潟の青山同窓  
会の活動の他、国際都市かつ田  
園都市としての新潟の可能性に  
ついて、大滝校長は、学業と部  
活ともに充実した母校の様子に  
ついて話されました。

なお、大滝校長のお話にはサ  
プライズがありました。新潟高  
校が来年の選抜高校野球大会に  
おける21世紀枠の県候補として  
推薦されることが決まったとい  
うのです。これには歓声が起こ  
りました。日下部事務局長の司  
会による第二部は栗林貞一東京  
青山同窓会名誉会長（59回）の  
乾杯により始まったのですが、  
栗林貞一名誉会長も野球部の活  
躍について触れられました。

歓談の後、アルビレックスチ



アリーダーズによりダンスパフォーマンスが披露されました。途中、私達も「新潟No.1」と言いながら参加する場面がありました。皆少し恥ずかしかったせいか声小さく、もう一回行うことになりました。

### 関西青山同窓会開催

校内幹事 押木 洋 (87回)

平成二十一年十一月二十八日(土)、今年で十一回目となる「関西青山同窓会」が、大阪新阪急ホテルで開催されました。新潟より参加した栗原道平総会実行委員長(82回)などを含め、約四十名が出席し、例年に劣らぬ盛会となりました。

定刻の午後六時三十分には渡辺友昭さん(83回)の名司会で開かれ、最初に関西青山同窓会会長

その後、出席者数コンテストが佐野栄二氏(83回)と星野紹英学年幹事(84回)の審判により行われました。一位は11回の八名、二位は59回の六名、三位は同数で64回と74回の五名、五位は72回の四名で、賞品として二位から四位には新潟のお酒一位には教育的配慮(?)から柿の種が提供されました。そして、島津孝学年幹事(84回)のリードによる校歌斉唱、星野学年幹事のリードによる丈夫の合唱が行われた後、西村正徳東京青山同窓会副会長(72回)の閉会の辞により締めくくられたのですが、今回は最後に出席者全員で集合写真を撮影しました。最後の集合写真撮影は今後の恒例になるかもしれません。



懐かしい思い出話に花が咲きました。また若い現役学生の皆さんも諸先輩方から温かなアドバイスをうけ、楽しそうにすごしておりました。

さて一通り歓談がすすんでいった後に、今回初めて参加された新潟の栗原道平さんより挨拶があり、続いて校内幹事から母校の近況が報告されました。現役大学生紹介では、昨春関西の大学に入学した117のフレッシュな四名を含め、七名から自己紹介がありました。そして青木久馬さん(59回)、西脇重孝さん(63回)、高橋貞夫さん(65回)、池隆夫さん(67回)、富山浩司さん(79回)から近況報告や懐かしい思い出話などのスピーチがあり、会は楽しく進

行し、あつという間の二時間が過ぎていきました。そして旧校歌、新校歌を斉唱した後、野球部のOBである伊藤洋介さん(83回)の指揮で「丈夫」斉唱とエールが大きな声で行われました。最後に中山均さん(83回)の閉会宣言でお開きとなりましたが、恒例の参加者全員の記念撮影の後もまだまだ名残惜しく話が尽きないような様子の大盛会でした。

## 青山同窓会役員

役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名
会長	61	長谷川 義明	副幹事長	82	栗原 道平
副会長	64	風間 士郎		82	小林 しほり
	69	敦井 栄一		83	吉田 徳治
	76	山内 春夫		84	行田 充
幹事長	75	富山 修一	85	渡辺 毅	
副幹事長	69	大森 ゆかり	87	押木 洋 (校内幹事)	
	74	河崎 順昭	88	渋谷 聡	
	75	小島 富美子	91	横堀 真弓 (校内幹事)	
	76	北村 幸輝	監事	61	江口 良助
	78	小林 敬直		72	渡辺 国夫
	79	白井 行雄			
	81	砂田 徹也			

平成21年度の選任

うな干渉縞現象が電子にも観測される。陽子の内部にはクォークが存在する。粒子を電場で加速し、磁場で方向を変えたり収束させたりしてさらに加速し破壊し調べる。小さいものを加速させるには波長がその粒子と同程度のものが、粒子の加速には大きなエネルギーが必要。茨城県つくば学園都市にある高エネルギー研究機構の加速器は日本の素粒子研究の最先端である。

③ 日本が誇る素粒子研究

1971 年高エネルギー物理学研究所が設立される。湯川博士の提言で朝永博士が尽力され日本の素粒子研究を理論と実験の連携で進める方向に向かう。湯川秀樹博士 (1949 年ノーベル賞受賞) 朝永振一郎博士 (1965 ノーベル賞受賞)。

カミオカンデ (第一世代) では超新星爆発時に発生するニュートリノの検出を成功させた。小柴昌俊博士は 2002 年ノーベル賞受賞。スーパーカミオカンデ (第二世代) では戸塚洋二博士 (2008 年没) により地球の裏側からやってくるニュートリノが大気側からやってくるものより量が少ないことを確認。これはニュートリノが地球を通る中で変化している (すなわち質量がゼロでない) ことを発見する (1998 年)。

第三世代は講師、鈴木厚人博士のカムランド。カムランドは反ニュートリノの質量を発見し、地球が出している反ニュートリノを初検出する。これにより反ニュートリノを使った地球の CT スキャンが可能となり、ニュートリノ地球科学を誕生させる。

また研究所の実験において原子核内で陽子および中性子を束ねる力の伝達をしているとされるパイ中間子 (クォークと反クォークより構成される) と同類の  $B^0$  中間子と反  $B^0$  中間子とその崩壊の過程が同一でないことが確認された。これは小林-益川理論 (小林誠 (高エネルギー加速器研究機構原子核研究所元所長) と益川敏英 (京都産業大学理学部教授、元京都大学基礎物理学研究所所長。2008 年ノーベル賞受賞) の CP 対称性の破れの実験的証拠となる。

④ 我々は素粒子をどこまで理解したか

物質の基本粒子

クォーク

u (アップ)	d (ダウン)	第一世代
c (チャーム)	s (ストレンジ)	第二世代
t (トップ)	b (ボトム)	第三世代

レプトン

$\nu_e$ 電子ニュートリノ	e 電子	第一世代
$\nu_\mu$ ミューニュートリノ	$\mu$ ミュー粒子	第二世代
$\nu_\tau$ タウニュートリノ	$\tau$ タウ粒子	第三世代

クォークおよびレプトンは原子の周期表 (高校の化学の時間を思い出してください) と同じ量子数の周期性を持っており、原子が原子核と電子から成る複合粒子であるように、もっと基本的な何か (粒子?) からできているのではと推測される。素粒子は原子核内で力のやり取りをしており、四つの力に参与している。電磁気力、重力、弱い力、強い力、それぞれの力の伝達子を光子 (フォトン)、グラビトン、弱ボゾン、グルーオンと呼ぶ。ニュートリノは弱い力に参与しており弱ボゾンを出す。弱ボゾンを出していればその素粒子はニュートリノと判定できる。クォークは強い力に参与しておりグルーオンを出している。(弱い力-原子核が自然崩壊する時に関る力、強い力-原子核内で陽子、中性子を結び付けている力)

⑤ 素粒子の探求=宇宙誕生・進化の探求

素粒子研究はこの四つの力の統一研究に参与する。発見されている素粒子がもともとはさらに極微の同一の素粒子でできているとなると四つの力も根源は単一の力ということになる。

電磁気力と弱い力の統一 (同一の理論式で説明され得る) は加速器実験で実証された。これには  $10^{13}$  度 C の高温が必要。これと強い力の統一 (大統一、 $10^{26}$  度 C) も予言されている。重力との統一 (超大統一、 $10^{30}$  度 C) の実証には現在の加速器技術では冥王星の軌道くらいの大きさが必要とされる。

超大統一が実在したとされるのはビッグバン直後とされる。ビッグバン後  $10^{-44}$  秒後に重力が分岐、強い力の分岐は  $10^{-36}$  秒後、電磁気力と弱い力の分岐が  $10^{-11}$  秒後、1 秒後には陽子が誕生し 3 分以内に水素やヘリウムが形成された。宇宙はエネルギーが物質に変わってゆく姿とも言える。

⑥ 素粒子で宇宙の謎を解く

宇宙探訪は光学望遠鏡からさらに遠くビッグバンから 38 万年後をさぐる電波望遠鏡時代や、ビッグバンの 1 秒以内をさぐる素粒子望遠鏡の時代へ入っている。超対称性素粒子 (CP 対称性) の研究も進められ、解明されれば反物質の消滅の理論的根拠となり、超ひも理論にも発展する。すべての素粒子は 1 種類の小さな紐 (弦の様な振動) で成り立っており、ひも同士の間関係や振動の仕方の違いで異なる素粒子として観測される。(実験的に未検証なれど有力理論)

この理論では宇宙が 10 次元の多次元になっていることが予言される。現在の観測される宇宙 = 3 次元空間 + 時間 (四次元) の中に極微のあるいは (粒子の相互移動がないため) 通常は観測されていない次元が存在する可能性もある。

ビッグバン以降転換された物質は宇宙の 4% であり、23% が暗黒物質、残り 73% が宇宙にエネルギー状態で存在すると考えられている。この 23% の暗黒物質が超対称性素粒子と考えられている。宇宙の成り立ちも研究しつつ素粒子研究はその終着である。一種類の粒子、一種類の力の解明へと向かっている。世界最大の加速器がヨーロッパ、スイスジュネーブ郊外にあり近々稼動する。ここでの実験、研究が進めばあと数年でもっとさまざまなことがわかってくる。

⑦ 終わりに

古代インドでは宇宙は地球を象が乗せ象を亀がのせ亀を蛇が支えている。と考えられていた文化があった。象は解明した。亀も解明しつつある。次は蛇 (最終素粒子理論) である。ウロボロスの蛇がその全容を現しつつある。

報告者あとがき

素粒子がエネルギーを内包するなれば素粒子研究は宇宙の 73% のエネルギーをとりこめる可能性を有しているかもしれない。原子力では太陽系内航行がやっただろうが素粒子エンジンなれば銀河間航行、次元航行も可能かと想像をめぐらせてしまう。理論的に理解するのは記者には困難でしたがとてもわくわくするお話でした。

鈴木先生のご講演に感謝申し上げますとともに、益々のご発展と更なるご栄誉を祈念申し上げます。

(石井智裕)

## 第 6 回 青山学術文化講演会開催報告

会報編集委員 石井 智裕 (79 回)  
坂井奈津子 (96 回)

昨年 11 月 14 日第 6 回青山学術文化講演会が、新潟  
高校視聴覚ホール (400 人収容) で開催されました。

今回の講師は次の方々です。

1 山内春夫さん (76 回)  
新潟大学大学院医歯学総合研究科  
法医学分野教授

2 鈴木厚人さん (73 回)  
高エネルギー加速器研究機構 機構長  
以下、それぞれのご講演について要旨を報告します。



### 講演 1 「医療への採点とプロフェッショナル・オートノミー」

山内春夫さん (76 回)

① 医療の採点と合格点  
日頃病気になった時に受ける医療を採点してみる。

80 点以上・・・合格

60～70 点・・・合格だけど点数が低いので反省点を早期に改善する事が必要。

40～50 点・・・不合格。研修・改善によって個人の責任を問わない。

20～30 点・・・重過失。個人の責任を問う。

10 点以下・・・採点対象外。

採点するのは、患者さんや家族・自己採点・医療仲間・第三者。自分の目を無色透明なフィルターにして、自分の目で見て、自分の頭で考える。

② プロフェッショナル・オートノミーとは。

「じりつ」には、自律 (オートノミー) と自立 (インディペンデンス) の 2 つがある。

自律 = 自己規律 (自主管理・自制と自己決定が出来る事)。

自律できてこそ、自立できる。

③ 医療事故について

医療事故の裁判では、医学的に妥当な方法であったかに焦点が絞られる。事故が起きた時の責任は、刑事処分 (業務上過失致死傷)・行政処分 (免許の取消、停止等)・民事的解決 (損害賠償) の 3 種類がある。

過去 60 年間の医療事故の刑事処分をみると、裁判案件が増えている事がわかる。

④ 実際に実刑・執行猶予判決を受けた事例の紹介

医学部 4 年の学生に 27 例の医療事故の事例を紹介し、採点をしてもらった。

事例毎の平均点を出すと、裁判結果と大体同じような妥当な採点結果になった。

⑤ 診療関連死モデル事業

モデル事業の目的は、解剖所見に基づき正確な死因究明をし、調査・分析によって問題点を指摘し、再発防止に役立てる事です。

新潟県は 2005 年のモデル事業のスタート時に名乗りをあげた。調査結果を医療事故調査委員会が判断する。その結果、個人を刑事処分にするだけで終わりにしてしまうことは医療にとってプラスにならない。それよりも、医療事故に関わった人を研修し、レベルアップして医療に戻るような法的整備・検討が必要である。

そこで、オートノミーが重要になってくる。起きた事柄をはっきりさせ、事故が起きないように自浄作用が働き医療が良くなっていく事が大切である。

また、調査結果を早く出す為には、解剖の迅速化が必要。

⑥ 解剖率について。

総死亡数に占める解剖の割合は 3%。20 年前の 6.5% と比べると解剖率が落ちている。特に、病理解剖の減少率が大きい。

画像診断では予想所見の確認は出来るが、解剖をしないと予想外の思いがけない発見が見つけれられない。

犯罪の見逃し、事故・事件の見逃し、食中毒・薬物混入等の見逃しを防ぐため、安心・安全な日本社会の構築のために、解剖をして死因究明する事は大切である。

以上の活動によって採点対象外の医療を無くし、医療をより良くするため、個人の刑事責任を問うだけでなく医療に戻る事の出来るシステム構築を目指したい。

報告者あとがき

山内先生の講演は、自分で医療を採点してみるという身近で取り組みやすい事柄を通して、医療を行う際に起こりうる医療事故の問題を、事例をあげて説明して頂きました。

ニュースで耳にしたことのある医療事故の事例もあり、興味を持って聞く事が出来ました。先生が地域代表として取り組まれているモデル事業が本事業となり、今後の医療に大きく貢献されることを期待しております。

(坂井奈津子)



### 講演 2 「素粒子で宇宙を調べる 一極微と極大の世界の関係」

鈴木厚人さん (73 回)

① 話のはじめに  
ウロボロスの蛇 一頭の蛇が自分のしっぽを飲み込んでいる図

極微である素粒子の世界から原子核、原子、地球規模、太陽系規模、銀河規模と続き、極大の宇宙がふたたび極微の世界へと続いていることを暗示する。蛇は古代信仰で長寿の象徴の意味がある。

② 素の探求

見えないものを調べる方法は ---- 壊して中を見る (すいか割りのように)

陽子をパチンコ玉の大きさにすると人間は太陽系の大きさになる。陽子の中を見るには 3km の長さの電子線形加速器で陽子を破壊し内部を探る。

アインシュタイン相対性理論の  $E=mc^2$  エネルギー = 質量 \* 光速<sup>2</sup> はエネルギーがあれば物質は生成されることも示している。微細の世界では量子力学が支配する。原子は原子核の周りを粒子としての電子が回っているという図になるが、電子には波としての性質も実験で確認されている。水面の波のよ

同 窓 生 訪 問

事業創造大学院大学 学長  
湯川真人さん(71回)を訪ねて。

会報編集委員

石井 智裕 (79回)  
坂井奈津子 (96回)

新潟県南にある校舎の学長室で湯川先生は笑顔で迎えてくださいました。

先生は新潟大学付属小学校中学校を経て新潟高校をご卒業後、東京大学教養学部教養学科で国際関係論を専攻、卒業後は日本興業銀行(現みずほ)で投資運用の分野で要職を歴任され、その後JPMorgan信託銀行取締役、興銀第一ライフアセットマネジメント常務取締役、シテイトラスト信託銀行代表取締役社長など金融界のトップマーケットでご活躍後、本学副学長を経て平成二十年より学長を務められています。金融界で培われたご経験をもとに、事業創造とその精神を学ぶ次世代の人材養成にお忙しい日々を過ごされています。私たち編集委員



も先生のお話で金融界の一端を垣間見ることができました。高度経済成長が進むと個人も企業も所得が増え、貯蓄や資本という金融資産が増えてくるが、経済の潜在成長率は低下する。成熟した経済において成長を維持していくためには、高度成長の果実である金融資産の再生産が必要になってくる。この金融資産の再生産技術が資産運用であるが、高度成長期の日本では欧米に比べ資産運用の知識も技術も遅れていたため、先生は当時欧米の最先端の資産運用会社をまわり資産運用のあるべき姿を学び、それを日本の投資顧問会社に取り入れるべく努力しました。また、当時は日本国内での運用資産の調達には限界もあり、中東のオイルマネーを導入し、その資金を海外現地法人で運用することにも取り組まれました。

近年、金融資産の運用対象はいわゆる金融工学的技術によって仕組まれた金融商品にまで発

展してきたが、金融商品の組み合わせ方によってはリスクの所在が不透明になり、投資家のリスク判断を間違えさせる。それが、昨年のリーマンショックの原因でもあった。金融資産の運用対象は、できるだけ経済実体に直結する金融資産、つまり企業の経営力を評価する「株式」、一国の総合的経済力や国力を反映する「為替」、景気や金融政策を表す「金利」債券といったリスクを客観的に判断できるものを基本にすべきだと思ふ、と指摘されました。

今、世界の経済構造は大きく変化しており、これまでの常識が変わつてゆくと思う。例えば、BRICsのような強力な経済新興国がリードしていく中で、日本は内需・外需と分けて考えるのではなく、一体として溶け合う形での経済成長を追求する必要があろう。また、電気自動車、太陽光発電などの新産業は、これまでの自動車産業やエレクトロニクス業界のあり方を一変させる可能性がある。現在起きている経済の構造変化のスピードは、これまでになく速いものであり、企業に携わる方々は、日々そうした視点をしっかりと持つ必要があるのではないかと話されました。

今推奨される本として「BL

ACK SWAN(黒い白鳥)を挙げていただきました。白鳥は白いことが前提であり、黒い白鳥は統計的に把握しえないものだが、その不確実な存在(不確実性)は、今やどの国の経済・産業・企業にも潜在的に存在し、時代変化の大きな要因になりうる、という教示でしょうか。

教職の傍ら日本人としてのご自分を見つめなおすためにも歴史に興味をもたれ、特に江戸後期の思想史の研究もされているそうです。想像以上に民衆の文化程度は武士階級に劣らず高いものがあり、例えば名主クラスが祖徠学を学び、それを村落経営に生かしていった史料が残されている。これらの高い民衆文化レベルが、幕末から短い時間で明治維新を実現させた潜在的エネルギーとなったのではないかと話されます。高校時代に

第58回の同期会は、春に新潟で地元在住者が、秋には東京で首都圏に住んでいる者がそれぞれ三十人程度集って「玲瓏会」

同 期 会 報 告

東京玲瓏会(第58回)への出席報告

加藤 高弘(58回)

と称して行って来た。幹事は、新潟は青柳廣士君と私で、東京は二人ずつ輪番である。記録はとっていないが二十数年来続

ているのは、自分で云うのもおかしいが、幹事が真面目にやっていたからである。新潟は、青柳君が事務能力を駆使して、一人でもとめて呉れていて、私は同窓会総会の前売会員券を担当するだけだ。東京の二人は、今年には佐藤富治君と大門啓治君だ。二ヶ月も前に案内状を出して来る熱心さだった。余談だが、二人共私とは在学中殆んど交遊は無かった。卒業して同期会で逢う事で語り合えるようになった人は二人だけではない。年を



とつてからの友人は大切だ。これは同期会の効用だと思う。さて、当日(平成二十一年十一月十五日(日))はお天気も良く、東京のビジネス街の真昼時は、ビルをこわす騒音はしていたが、人通りも少なく閑散としていた。今年は日曜日の正午の開宴で、大手町のビルの中にあるレストランで行われ、この設定が大当りで四十人出席。内、新潟から十人の参加があった。病を得て居られる同期の諸君には申し訳ないが、同期会に出て来る者は元氣者である。平成二十二年の三月までには七十八

才以上になる連中である。各人一分間の近況報告スピーチも大体時間通りにこなし、三時間の宴会を無事終了した。わが「玲瓏会」は、この二回の集りの他に、新潟東京合同で一泊の会合を五年に一回、今まで二回行って来た。今回は再来年になるのである。この場合の幹事は、温泉大好人間の細貝実君である。既に色々構想を練って居るようである。従来も幹事も細川君に協力して傘寿の元氣老人の集りにしたいものだと思う。

### 青山70回同期会

#### 「かこ・げんざい・そしてみらいへ」

伊藤 善允(70回)

六人の亡くなった仲間の名前が読み上げられ、物故者への黙禱から同期会は始まる。

平成二十一年十月十八日、恩師宮地正樹先生、関根彰圓先生をお迎えし、六十人が参加して二年ぶりに開催。会場はイタリヤ軒。四十五年ぶりの新潟国体が天皇杯・皇后杯を獲得して終わったこともあり、話題は昭和三十九年の新潟国体に。宮地先生からは、後輩たちの準備への対応の様子が隠れたエピソードとして紹介された。関根先生は

いつもの世界一周の旅を披露、原語で次々と歌っていく。一周はかなわなかったが、記憶力には感嘆する。先生方のお話が終わるころには、アルコールもまわり始め、各テーブルでの会話のボリュームはどんどん上がっていく。

演奏、飛び入りによるヴァイオリン演奏などのイベントもあったが、平成十五年にオープンした朱鷺メッセのホテル日航で還暦を祝う会を開催してからは、隔年で開催することになり、会場も固定している。一年おきの開催ということもあって、特別の催しもなく、お互いの久闊を叙し、近況を語り合い、昔話で盛り上がる。会のしめくくりは、丈夫を歌い、宮地・関根両先生にエールを送って一次会は散会した。

### また六年後に・・・

澤田 俊明(82回)

皆様明けましておめでとうございませう。

昨年、皆様にとつていかな一年だったでしょうか。昭和四十九年卒業の我々82回生は、

二次会はいつものとおおり、東堀七のジョイアミニアへ。ほとんど全員が参加し、また、えんえんと話が続く。席を替え、いろいろな人と話をする。今まで話したことなかった人との会話で新しい発見がある。深更に及びようやく散会。最近は更に次へという人も少なくなつた。今回は、卒業後初めて顔を見せた人もあり、常に新たな出来事、発見がある。今回は二年後、楽しみにみである。

### 「ひとけたの集い」開催

#### 通信制コーナー

高橋 榮治(通8回)

通信制閉課程記念式典からはや四年、総会が無くなり、心のよりどころとしていた通信部会報も廃刊となり、ふと、一抹の寂しさを覚える人も多いことと思ひます。

そうしたなか、昨年十一月七日午後、新潟駅方代口近くのクオリスビル・信濃川で、「ひとけたの集い」を開催しました。中下越一円から、佐渡から、粟島から、関東地区から、総勢七十一名がやってきました。十名もの当時の通信制専任の先生方(当時は本校全日制の先生方も通信を教えておられました)も出席下さいました。案内状発

した。出席いただいた恩師の方々より一言お話しいただき、各テーブルで話の輪が広がっており、互いの現況の報告、高校時代を懐かしむ笑い声がそこかしこ聞かれ、各クラスごとの撮影会とすすんでいきました。懐かしく楽しい時間は過ぎ行くのが早いもので、宴は日本海に沈む夕日に六年後に全員が元氣で再会できることを祈りながら「ますらお」で二次会は幕を閉じました。ウオーターシャトルで信濃川のナイトクルージング楽しんで後、対岸のポルトカブドツチでワインのグラスを傾けながらの二次会と時間の許す限り、飲み・語り・肩を叩き合いながら楽しい時間を過ごし、三々五々夜の町へと散会したのでした。





長岡・佐渡)の旺盛な自主活動によって、打てば響く、今に続く強固で清しい友情が育ったものと感謝しております。

「集い」は6回養田太一郎さんと7回高橋茂子さんの司会で始まりした。お亡くなりになられた、1〜12回がお世話になった先生方十三名および1〜12回同窓二十六名に黙祷。山田源行先生からご祝辞・1回上重正一さんのご挨拶・渡邊衷郎先生の音頭で乾杯・そして宴会歓談。宴会中は各先生方及び同窓有志から、それぞれ含蓄に富んだスピーチを聞かせて頂きました。加藤守さんの詩吟、西郷南洲の「偶感」と、女性十数名による合唱「もみじ」と「ふるさと」で彩りを添えて頂きました。最後は全員一つの大きな輪になって「丈夫」の大合唱。なつかしさに涙ぐむ人も居りました。感動の三時間でした。



の「おもしろ文学談義」に枯れかけた脳味噌を補充してもらったりしながらの、せいたくな稽古の時間を過ごしている。その後幸運にも中央区附船町にあるウキス興源寺様のご好意を得て、毎年秋分の日、立派なご本堂をお借りして発表会を開催させていただいている。これまでに「セロ弾きのゴーシュ」「ブナよ木からおどってこい」「耳なし芳一」と名作に挑んできた。四十有余年を経て新たに情熱を傾けられることに感謝しつつ、最近復活したらしい新潟高校演劇部との共演も……と夢見ているところだ。

キャスト(高校生当時氏名)  
永井健司(67回) 青木彰(68回) 五十嵐松夫(70回) 曾我勝四郎(70回) 伊与部蘭子(71回) 鷲尾紀子(71回) 近藤東穂(73回) 田中光二(73回) 顧問 瀧澤強一

で高速道を降り新穂高温泉へ。谷川沿いを徐々に標高をあげて行く車窓からは、まだ新緑の柔らかなさを残している木々の若葉が目に快い。「この新緑を観ていると神々しい程だナア」

日頃の言動からは思いもよらない悟りすましたような声がある。それに呼応して「あらたふと青葉若葉の日の光……芭蕉が奥の細道で詠んだ心境もそんな感慨からなんだろうナア」などと声が続く。この歳まで生きてきた各々の山あり谷ありの人生の陰影が伝わってくる会話が車中に飛び交う。

閉んでの楽しい歓談のひとつである。その二次会でホロ酔い気分での誰かのひと言「もう一度演じてみたいね」がきっかけとなり、礎小学校跡地に建設されたばかりの「クロスパル」に「無料の稽古場を確保できたこと」にわかに実現することになった。昔と変わらない若さで元氣溼潤の先生にあやかっ「瀧澤塾」と名付け、平成十七年末にスタートした。

休憩時間に、先生オリジナル

新穂高温泉駅から二つのロープウェイを乗り継いで一挙に2,156mの高みに立つ。展望台からは北アルプスの槍、穂高、焼岳の雄大な峰々を存分に眺めることが出来た。この展望と山稜の間に、どれだけ多くの人達の喜びと汗と涙がながされたのか……などという感慨がふと頭をよぎる。

足元を観ると残雪の間にキヌガサ草の白い大輪の花、エンレイ草、舞鶴草など季節の花々。そこから残雪の登山道に入り西穂山荘を経て丸山(2,452m)まで登る。

北アルプスの山巔達は一段とくつきり指呼の間に迫ってくる。三時間弱の登山で汗を流し

特別寄稿

老いて楽しむ「朗読劇」

永井 健司 (67回)

私たちは一九九四年以来毎年一回、途切れることなく演劇部同窓会を続けてきた。

67回から73回までのメンバーで、当時顧問として熱心に面倒を見て下さった瀧澤強一先生を

穂高・上高地を歩く(68会歩こう会) 報告

二〇〇九年六月九日〜十日

鈴木 洋 (68回)

穂高・上高地……口にしただけで、胸の中に甘酸っぱいような、なつかしい想いがこみあげて来る。この気持ちは山男だけのものではないはずだ。その穂高と上高地が二〇〇九年の「歩こう会」の舞台だ。

六月九日 梅雨入り前の薄曇りの新潟駅南口を朝六時三十分、十三人で貸切バスで出発。松本

がなかなか出席できませんでした。

こうした状況から多くの同窓に取って、学習はほとんど仕事を終えた後の夜間の家庭学習で、レポートを介して先生と私達の間は太い絆でしつかり結ばれてゆきました。着実に、そして深く学ばせて頂きました。

農家も会社も連続した休みを貰い易い時期はお盆の直後だけでした。昭和三十年代はこの時期に一週間前後の夏季合宿スクーリングを組んで下さいました。

「本校三階の教室にござをし

て麓の新穂高温泉の「つくしんぼ」に投宿。宿の住所は高山市奥飛騨温泉で我々と同世代のおかみさん夫妻のひなびたもてなしが心にしみる。飛騨牛のステーキを堪能し翌日の行程に備えた。翌朝には宿の近辺から、槍ヶ岳の屹立した山容がさらにくつきりと望まれ、今回の山行きが一段と稔り多いものとなった。

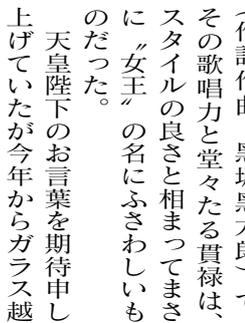
車は前日の山道を曲折しながら大正池を経て上高地へ。今では大正池の家徴だった倒木もほとんど消えてしまったが、池越しに望む穂高は変わらない偉容で我々を迎えてくれた。七日にはウエストン祭が行われたばかりのウエストン碑に立ち寄り、河童橋を経て明神池をめざしスタート。穂高の真下を流れる清冽な梓川の左岸、右岸を三時間ほどかけて周遊。道沿いには白い小梨の花、ラシヨウモンカズラの紫色の花が咲き乱れ、林床には紅花イチヤク草、野生ランのノビネドリが散見された。平日にもかかわらずさすが天下の上高地、大勢のハイカーが行き交い、昔と変わらぬ賑わいを見せていた。明神池畔には人馴れした鴨、木道には猿の群れも出没し、まさに上高地は今も別天地そのものだった。帰りには沢渡の日帰り温泉

で汗を流し「暮れゆくは白馬か、穂高は茜よ……」と山小屋の灯の二節を口ずさみながら帰途についた。

山行きとハイキング、今回も絶妙の行程を組み合わされて実施された「歩こう会」。

いつもながら森田、加藤（達）両君の行き届いたプランニングとアシスト。つくづく多士済々の68回の一員でいることの幸せを思う。

帰りの車中では、早くも次回の期待が話題になる。今回残念ながら、いろいろな事情で参加できなかった人達とはまた一緒に歩きたいと思う。車が長野県から新潟県にさしかかるあたりで、その日、信越地方も梅雨入りした模様とラジオが伝えていた。



(カットは岩原修爾)

参加者  
飯利武志、岩原修爾、河西厚、加藤健一、加藤達雄、駒林進四郎、鈴木喜也、鈴木洋、藤崎昌彦、水本源弥、森田浩二、若林茂敬、若松昌弘

平成二十一年九月二十六日、トキメキ新潟国体の総合同会式が東北電力ビッグスワンスタジアムで開催された。セレモニーの前のアトラクションでは関川村の「たいしたもん蛇」が圧巻であったが、何とわが大先輩平田大六村長が指揮しておられるではないか。平田先輩は水泳の長距離(千五百米など)選手として活躍されたのだが、新潟高校のプール(市営プール)はなかつたで常に独泳されていた。「第〇のコース平田君」で始まり、「只今の結果、一着平田君で終るのであった。

大先輩の活躍に刺激されたのか、県民謡連盟の「佐渡おけさ」と古町芸妓衆の歌と踊り(新潟小唄・佐渡おけさ)も素晴らしい出来であったが、何といつても良かったのは、横七番町の姐さま「小林幸子嬢の「ありがとう」(作詞作曲・黒坂黒太郎)で、その歌唱力と堂々たる貴族は、スタイルの良さと相まってまさに「女王」の名にふさわしいものだった。

天皇陛下のお言葉を期待申し上げていたが今年からガラス越しの御挨拶に変更されたのは残念。それはともかく本題に入ろう。

私は昭和二十八年〜三十年まで新潟高校軟式庭球部員であり、昭和四十六年〜六十三年まで同部の顧問であった。三十九年新潟国体の教員の選手であった石崎和美先生と共に男女の部員達をしいたわけだが、石崎先生が通信制に移られた時の三年生で部長を務めたのが、今国体の少女の監督津野誠司君(88回)である。彼は本職は国語の先生であるが、そのテニスの指導力たるや一種のカリスマ性を發揮していた。新潟東高などで実績を買われて、何と県の保健体育課勤務を命じられたのである。そして今国体の強化のため巻高に赴任し、選抜で全国ベスト8に輝いたその余勢を駆って今国体では第三位という素晴らしい成績をあげたのである。

コーチの柳直子(旧姓田村)君(94回)も本校出身で小千谷高の英語の先生。新潟高校の女子の黄金時代の選手で、この津野・柳のテニスには青山の歴史と伝統が息づいているのだ。

### 64国体・ソフトテニス

#### 三位入賞を祝して

高木 睦弘 (64回)

### 野球部講演会に想う

竹内公英 (83回)



平成二十一年九月二十一日(月)午後一時から、大越健介氏(88回)の講演会が、新潟高校視聴覚ホールで行われました。彼の高校在学以来私にとつては実に三十年ぶりの再会でした。

今回の来校は、弱体化している東京大学野球部の掘入れ策の一環として、OBそれぞれの母校で、入部の勧誘をするということにあつたようです。運命的な巡り合わせとでも言うのでしょうか、奇しくも今年是我が野球部が、夏季大会十三年ぶりに県ベスト8、そして秋季大会では二十八年ぶり決勝進出という記念すべき年でもありました。

しかも、彼はNHKワシントン支局長から、今年六月に帰国したばかり、私自身も、たまたま現三年生部員の保護者として、久々にOB会活動に参加したという、偶然が重なつての再会だったわけです。何か不思議な縁と、時代を超えたOB相互の深い絆を強く感じざるを得ませんでした。

さて講演内容ですが、当初の目的に関する話は最後の最後だけで、そのほとんどは高校野球の素晴らしさと、自分自身の人生にいかにか野球が深く関わり、

役員つてきたかということでした。東京六大学や日米大学野球での活躍だけでなく、NHK入社後もその経験と人脈がどれほど役立ったか。そして時を経て親となつてからも、その素晴らしさを、同じ高校球児となつた息子たちにも伝えて来たということ、全部員とOB・保護者を前に熱く語ってもらいました。

そして、当日一緒に来校した二番目の息子さん（野球の経験を活かし現在スポーツ医療の道を志している）からも、部員に

### 吹奏楽部OB会 恒例の「ボンクレバンド」

小田 彩絵 (117回)

昨年は八月十五日（土）に、新潟高校の視聴覚室で吹奏楽部OB会夏の恒例行事となつた「ボンクレバンド」を行いました。（顧問と日程調整したら、本当にお盆開催になつてしまいました。）午前、午後のみ参加の人や、現役の飛び入り参加もあり、正確な人数は分からないもの、およそ三十名くらいの方に参加していただきました。九時に集合し、十時からステージ上で初見大会を開始。事前に参加者のみなさんにリクエストしていただいた曲で、新潟高校にあるものと、個人持ち込

対していくつかのアドバイスいただきました。親から子へと、しっかりとその思いが受け継がれていることに、改めて高校野球の素晴らしさを実感させられました。

さらにうれしいことに、この活動報告の原稿締切り間近、全選抜高校野球大会「21世紀杯 県候補」として、新潟高校が推薦されることに決まりました。百年を超えて脈々とつながるOBの悲願「甲子園出場」。部員共々、朗報を心待ちにしています。

みの楽譜から適当に選んで演奏しました。曲目は、「ルパン三世」「デイスニーメドレー」「トロファンタジー」「シンク・シンク」「デイスコキッド」「天馬の道」「吹奏楽のための風之舞」「ナブッコ序曲」「キャンディード序曲」「ケルト民謡による組曲」「ローレックの3つの絵」などなど。ポツプスからジャズ、さらには懐かしいコンクールの自由曲や課題曲を次から次へと…。休憩時間には、木管アンサンブルによる「崖の上のポニョ」や、金管メンバーによる「スペイン」が

聞こえてきました。今回もお昼にサンドイッチを用意して、場所を音楽室に移し、OB、OGの他学年との交流を兼ねて、談笑しながら食べました。

午後も、ひたすら楽譜が配られ、五十分目を通したのち、すぐに合奏、一息つく間もなく、次の楽譜が配られる。といった具合でした。現役の生徒さんや、大学などで楽器をされている方は簡単に吹いていましたが、ブランクのある方々は四苦八苦し

それにしても、普段かかわりのない人たちが一つになつて演奏する、音楽を作っていくというのはいいものです。また、同時に、この部活と伝統を絶やさないように、支えていかなければならないと感じました。最後に、このダメダメな幹事を手伝つてくださった方々、前

日に視聴覚ホールに楽器を下しておいてくれた現役のみならず、様々な相談ののつてくださった顧問の先生方に感謝申し上げます。みなさんの協力なしではこの「ボンクレ」は成功しませんでした。ありがとうございました。



### 二十一年度青山柔道部OB会総会報告

幹事長 栗林 仁 (83回)

恒例の青山柔道部OB会総会は、平成二十一年十一月二十一日（土）六時、東堀通八、ホテル金寿二階「海鮮亭羅言」（女将が91回の風間まゆみさん）に於いて開催されました。

立川会長の開会あいさつの後、東京青山柔道部OB会長の佐藤信秋先輩（参議院議員・74回）、来賓の青山同窓会の風間士郎副会長（64回）からあいさつをいただきました。儀同副会長から、当日一時過ぎから行われた現役・先輩稽古および事業・会計報告、母校加藤監督からの活動状況の説明の後、金子隆弘先輩（55回）の音頭で声高らかに乾杯し懇親会が始まりました。

後は例年のごとく、55回から113回まで全く隔たりもなく楽しく飲み、語りました。

閉会は村田紀夫（70回）先輩の万歳、柔道部部歌で閉めました。その後はこれも例によって会場を学校町の「佐和村」に移し、再び氣勢を上げ応援歌を熱唱し来年の再会を誓いました。出席者は以下のとおり。

- 同窓会本部風間士郎副会長（64回）、加藤英一、笹口勝（顧問）、金子隆弘（55回）、櫻井競（63回）、今井正昭、村田紀夫（70回）、立川克雄（72回）、丸山澄夫（73回）、佐藤成昭、佐藤信秋、小川もりと（74回）、相澤裕吉（78回）、広井俊隆、山下義昭（82回）、栗林仁（83回）、大澤満（84回）、須田剛（87回）、小林久哉（88回）、箱田信之（89回）、儀同政宏（90回）、野

沢雅行（91回）、井狩歩（92回）、増子則義（95回）、渡辺久雄（96回）、倉島敏志、佐久間亮介（112回）捧陽介（113回）以上28名。二十一年度総会予定 十二月二十日（土）。



# 新潟高校ラグビー部OB会 『青山ラグビークラブ』

幹事 小見 毅 (92回)



昨年恒例により、現役高校生ラグーマンと往年のラグーマンが交流する「青山ラグビー祭」を、新潟高校のグラウンドで、お盆も真つ只中の八月十五日(土)にとり行いました。例年は茹だる様な暑さの中

で、往年のラグーマンも真つ白な灰になるほど奮闘するのですが、昨年は涼風漂う中でのラグビー祭となりました。現役高校生ラグーマンは一、二年生中心ではありましたが、三年生も二人残り、冬の花園を目指して完全燃焼を目指してました。往年のラグーマンも気を抜くとケガをしますので、いつものがらの真剣勝負！若手のOBは経験とパワーで貫録勝ち。オールドOBは五角の勝負で大健闘！ということで大変盛り上がりました。

毎年思うのですが、若手のOBは普段から運動していたり大卒でラグビーをやっていたりの方々が中心なので、見事な試合運びと運動能力を発揮しており、試合を見ていてもとつても楽しめます。それとびつくりするのはオールドOBです。失礼ながら、あのお年であれだけのパフォーマンスを発揮できるのは普段からの運動の継続と蓄積なんだと感動してしまいます。

参加人数も多く、見学やマネージャーの参加もあり、なんと四十九名のOB・OG、それと十五名の現役高校生のご父母

の方々、高校生二十一名、監督コーチ五名、合わせて九十名の盛大なラグビー祭でした。本当に協力いただいた皆さまには感謝感謝です。

試合後は、セミナーハウスでお待たせの懇親会。監督コーチ陣、現役高校生、ご父母の皆さま

## 青山体友会の集い

中川 弘 (58回)

第64回国民体育大会「トキメキ新潟国体」も終盤に近づいた十月四日、第二十三回青山体友会は開かれた。上越市で行われた体操競技も、成年男子が一位の成績で、体操王国新潟の名を全国にとどろかせた。新潟の体操は新潟中学より始まるとの気負いを背おう青山体友会の集い

では、四十六年振りの優勝に、一段とピールの旨さはますますである。

歴史と伝統の重みは、次世代へと、確実に引き継がれていくのだと感じる。近藤氏(38回)と中野氏(59回)は、わざわざ上越市へ応援にいかれたとの事。そして、新潟地元の選手だけの勝利に、本当の実力と賞賛しておられた。ともすると、勝つために、他県より引き抜き、否応無しに、勝つのは月とスッポンである。段々と年老いてくると、昔の話を語り合う事



が、いかに、健康に、生きがいとなっていくのか、しみじみとわかる。

後輩の味方氏(67回)は、新潟島屋野体育館で片桐靖孝氏(68回)と共に新潟市の体操教室の指導にあたり、数百名の生徒がいるとは将来頼もしい。こ

の中よりオリンピック選手が生まれるのを期待する。体操は器具を備えることが経済的に大変で、一校だけでは無理という所が多いので、揃っている所(昔は新潟師範の体育館)に放課後あつまって、男女共練習に励んだのである。年々体操も高度化し、吾々が最高難度としていた技も、今は中学生あたりが楽にこなす時代である。時代の進歩と言えはそれまでだが、すばらしいものである。

恒例の渋谷興司氏(53回)の手品・マジックに爆笑の間に、青山昭郎氏(55回)の、川田晴久の「地球の上に朝がくる」の節廻しと歌詞の記憶力に、歓談の一刻はすぎていく。楽しい先輩の時間である。出席者は近藤圓(38回) 土田卯八郎(51回) 渋谷興司(53回) 青山昭郎(55回) 安倍豊(58回) 中川弘(58回) 中野文郎(59回) 川上忠男(59回) 味方繁夫(67回) 磯部博(73回)であった。

## 「水泳部関川村合宿」応援記

青山水友会 長谷川富明 (84回)

平田村長(60回)のご厚意により、関川村で水泳部の合宿が行われるようになって昨年で四回目となりました。

青山水友会の会員は、毎年合宿最終日に、生徒達(すでに孫の年代に当たる)にお昼をふるまって合宿を慰労し、若者とおじさん達との交流を図ってきております。

昨年、八月二日合宿の宿舎でもある関川村「雲母温泉寿荘」で開催されました。

江口幹事長(61回)と松木さん(84回)長谷川(84回)三名は、一日早く関川村に入り、入念な準備を行いました。

生徒達の夕飯のおかずを一品増やすため荒川の支流でカジカ捕りに挑戦しましたが、天候に恵まれず成果はわずか一匹の有様でした。

しかし、松木さんの心遣いで、その日の早朝本人が日本海で釣ってきたキス一〇〇匹がクーラーボックスに用意されており、カジカの代わりに夕飯の食卓に天ぷらとして乗せることができました。

また、就寝前にわたしたち三名が生徒達の部屋を来襲し、若者達との楽しい語らいの時を持つことができました。

翌二日は、天候も回復し大黒会長(50回) 松木さん(55回) 小熊さん(58回) 永井さん(62

回) 栢山さん(62回) 横瀬事務局長(66回) 横堀さん(85回) など、遠方・近隣から多くの水友会メンバーが参集しました。

まず、練習プールを訪ね、ただかろうじて泳ぐことができるOB達が、高校生とのエキジビションリレーを本気モードで行いました。

勝負の優劣は別にして、OB達の勇姿が高校生の胸を熱くしたことは紛れもない事実でありました。(誇張あり)

その後、寿荘に移動し先輩達が調理に腕を振ったバーベキューや、流し素麺を若若男女で十分堪能し、楽しい交流となりました。

食材には、米沢牛などの他にハム・ソーセージ専門店、ラインの高橋さん(77回)から寄贈された自慢のソーセージも供されました。

最後は恒例となっている、「丈

夫」と「水泳部歌」を全員で歌い、次の再会を誓ってお開きとなりました。



### 伝統を受け継ぐ後輩たち

青山バスケットボールクラブ  
会長 和澄 孝男 (83回)

新年明けましておめでとうございませう。

昨年は、「トキめき新潟国体」が開催され、スポーツ好きの面々は存分に楽しめたことでしょう。バスケットボール競技も新潟市内を中心に熱戦が繰り

広げられました。トップレベルのプレーに思わず血が騒いだり、アスリート達の交流に感動を受けたり……やっぱりスポーツはすばらしいなあ!とあらためて熱く感じ入ったもので

す。

感動と言えば、甲子園での地元日本文化高校の活躍は、見事という他はありません。高校野球ファンのみならず、全国の視聴者の目をくぎ付けにした決勝戦の戦いぶりに、新潟県民としては誇りすら感じた人は私だけではないでしょう。

さて、母校の後輩部員たちも、三年生が引退した後の新人チームづくりのため、日々練習に励んでいます。新潟高校の伝統と先輩たちの期待を感じながら真剣にプレーする姿は、いつ見ても清々しいものです。OB会としてこの後輩たちに何か支援を

### 山岳部OB現役交流会

奥村 基 (85回)

二〇〇九年九月五日、巻機山麓の山小屋にて恒例の交流会がありました。現役は女子部員らが退部した直後でちょっと寂しい四名の参加でした。顧問の先生は三名、そして顧問OB一名がお出でになりました。OBは私を含め四名、合計十二名の一夜となりました。

美味しい酒と肴がたくさん集まり、どの酒が一番好きか、OBの皆さん口の中に含んで宙を見つめて、ついつい杯を重ねるのであります。もちろん現役はその間テントの中で別行動、何

してあげたい(自分たちが現役時代にOB達から受けたそれと同じように・・・)と考えてはいるのですが、八〇〇余名のOBリストを取りまとめることは容易なことではありません。通信技術の進化で情報の伝達は容易におこなえるようになりまして、人のつながりを維持発展させる技術はなかなか見つからないようです。

せめて、OB達には「後輩である現役たちが、先輩の精神を見事に受け継いでコートでがんばっている」ことだけは伝えたいものだと考えています。

を飲んでどこを見つめていたかはわかりません。やがて、現役が小屋に入ってきて自己紹介となりました。もう私は酔ってしまい、誰が何を言ったのか殆ど思い出せず大変残念な事となりました。なのに写真だけはちゃんと残ってました。私は写真が本職なもので、ついつい体が動いたのでしよう。

翌朝は雲が垂れ込めていましたが、現役は予定通り出発していきました。私も追っ付け身支度をして出かけましたが、他の

OBは見送るばかり、そうか交流会は土曜日だけだったのか、と気づいたのは既に遅しでした。

先行の現役に追いつけなければ、五合目まで行つて滝を見て帰るのも一興と思い、歩き始めたのはありました。幸いにも程なく追いつけたので、可能な限りついて行く事に致しました。

久しぶりの巻機山で、記憶の中の情景と照らし合わせている内に、好天に恵まれた事もあり、結局私も頂上まで行つてくる事ができました。

昼食には現役の皆さんの手によるハッシュドポテトのサンドイッチを御馳走になりました。私が現役のころ、パンと言えはコッペパンで、ハトロン紙を被せてから踏みつけ、圧縮後に携行してました。容積を減らすため仕方がなかった訳ですが、耳の無いフカフカの食パンを山頂でいただくとは思ってもいませんでした。それに器用に剥いてくれた梨も、乾いた喉を充分潤してくれました。現役の方々の食に対するデリカシーに大いに感心いたしました。



無事に行つて来れたのも、現役諸君のリードのお蔭で、大変感謝しております。

ところで、山登りは、大別すると二つのタイプに分けることができるでしょう。リーダータイプと、追従タイプです。グループ山行の場合、両者が揃うことで臨機応変、かつ居心地のよい山行が可能になると思います。単独行をするのは、専らリーダータイプで、私のような追従タイプは決して無理をしてはいけません。以前先輩に教わった「山に貴賤なし」という言葉は今でも印象深いものがあります。低山でも十分楽しむことが

できると思っています。  
私事で恐縮ですが、二〇〇八年暮りに三十二年間住み慣れた埼玉から、新潟へ戻って参りました。高校生の頃にくらべれば、行動範囲も格段に広くなり、初めて訪れる場所のように新鮮な発見も多々あります。山でも街でも、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 青山ゴルフ会秋季大会報告

入田 康夫 (96回)

第二十八回青山ゴルフコンペは、会場の木々も深秋に色づきはじめて、恒例の紫雲ゴルフクラブにて十月十八日に開催されました。

団体優勝は、68回 飯利武志、田中宣男、土田正、加藤健一。個人優勝は、69回 大谷勝美さんがアウト41、イン43の高スコアで優勝を飾りました。コンペ終了後は、いつもおなじみの信濃川で、参加者はお互いの健闘をたたえあいながら、メには全員で丈夫を熱唱し、楽しい思い出となる一日でした。



## 同窓の本

上杉雅之先生著「闘いすんで孫とふたり」  
一教師の自分誌」を読ませていただいて

小野島 恵次 (86回)

今から二十三年前、民間企業を辞め高校の英語教師を目指して勉強していた私は、幸運にも母校で一年間講師をさせていただく機会を得ました。その際、上杉先生からは、英語教師としての基礎・基本を徹底して教えていただきました。そして翌年、お陰さまで高校の英語教師として採用になり、現在は一つの学校を預らせていただく立場となりました。

さて、急速な少子高齢化や長引く経済不況の影響で、学校教育を取り巻く状況は年々厳しさを増しており、教師として生徒に対して「人生」や「夢」を語るものが極めて難しい時代になってきております。しかし、そのような時代だからこそ、次の世代を担う生徒たちのために、教師は自らの「思い」や「情熱」、そして「経験」の全てを賭けて教育に当たらなければなら

りません。

上杉先生の「自分誌」を読ませていただき、先生の教師としての「歴史」と「思い」に触れ、私も「初心に帰って全力で教育に当たらなければ」という思いを新たにいたしました。教育に携わる多くの同窓の皆様には、是非お読みいただければと思います。



## 「メモリーと心の画集」

大森ゆかり (69回)

今回私が画集を出そうと思っただきつかけは平成十九年秋の初めての個展でした。

個展をやり、自分の絵がよそにお嫁に行ってしまった時に、なんだかとてもさみしくなりました。その時、いつまでも記憶に残しておきたいと思い、「私のメモリーとなる画集」を作ろうという結論に至ったのです。内容はヨーロッパの風景と季節のお花達です。私が絵を描くきっかけは新潟高校美術部員となったことでした。というのも、卒業後は絵とは縁のない生活をしておりましたが、ある時街中で美術部の先生でいらした

関口先生にお会いし、また絵を描くことを勧められたのです。それ以来二十数年ワン・オブ・ホビーとして細々と続けて参りました。ご興味のある方はご連絡ください。冊数に限りがありますがお送りします。赤い表紙の可愛い画集です。



## KOAZE KOUICHI memorial book

「街づくり」に情熱を傾け、青山同窓会の幹事長としても活躍され、平成二十年五月に急逝された小崎弘一さん(73回)のメモリアルブックがこのほど発行されました。定価1000円、発行は特定非営利活動法人 まちづくり学校。



お問い合わせ 025-2001-9320 山賀さんまで。



母 校 は 今

国体を終えて私に残ったもの

三年 菅原 美穂

私は、フェンシングが嫌いになつていました。もともと運動神経のない私。どうして運動部に入ってしまったのだろう、と後悔もしました。始めた頃はと

ても楽しかったのですが……。もしかしたら、最後の最後まで続けられ、またフェンシングを好きになれるかもしれない。そんな思いから、私は三年生であ

プレゼントのお知らせ

「同窓の本」でご紹介した『闘いすんで孫とふたり』と『大森ゆかり作品集』を先着順で差し上げます。ご希望の方は、ご希望の本のタイトル、郵便番号、住所、電話番号、お名前（卒回）を同窓会事務局までご連絡ください。

申し込み締め切り 平成22年2月19日(金)  
 申し込み先 同窓会事務局  
 Tel/Fax 025-266-5268  
 E-mail niigata\_aoyama@yahoo.co.jp

※『闘いすんで孫とふたり』は送料負担（着払い）となりますのでご了承ください。  
 ※Fax・E-mailの方で、送信後1週間以内に事務局より確認の連絡が届かない場合は、ご面倒でもお電話にて再度ご連絡ください。

北信越

二年 伊藤 光甫

私たちは、県大会で準優勝を果たし、三十二季、十五年ぶりに北信越大会に出場できました。

今のチームは、前の代のチームのレギュラーがひとりも残つておらず、新チーム発足当初は大きな不安がありました。しかし、三年生の先輩が、強豪校と戦つて勝利した場面や、新しく

るにも拘らず、国体まで競技を続けることに決めました。

この競技を続けるうちに、私は、競技そのものとはもちろん、自分自身とも向き合うようになっていました。今まで目をつむつてきた自分の悪い点、気付かなかつた良いところを知り、自分を理解できるようになれました。また、国体の関係でたくさんの方々にお世話になりました。その方々は、競技歴の長いことはもちろん、様々な経験をお持ちで、高校生の私には、たいへんな刺激になりました。いろいろな価値観をお持ちで、私がフェンシングに取り組む姿勢に、大きな影響を与えてくださいました。このことから、私は自分の視野を広げることができ、とても感謝しています。このような経験（いわゆる「精神力」の向上は当たり前のことと）思つたので、あえて詳しく書きません。を通じて、私は、いつの間にか「本気」でフェンシングをしていることを実感しました。

十月二日に迎えた試合当日。結果は、惨敗でした。悔しいと思いと、教えてくださった方々、支えてくださった方々に申し訳なく情けない気持ちと……。そして、それと同じくらい大きな達成感がこみあげてきて、私は涙を止めることができませんでした。国体を終えて、私は最後まで続けてよかったと、心の底から、そう思っています。

最後に、一言、「私はフェンシングが大好きです。」



青山祭



内容での、初戦敗退に終わつてしまいました。OBの皆さまをはじめ、たくさんの方々のお支えをいただいたこと、ありがとうございます。私たちの野球部は、日ごろから物心両面で、皆さまにたいへんにお世話になっております。その最大の恩返しとなるのは、やはり悲願の「甲子園出場」だと思います。

新チームが発足したときに、「甲子園で自分たちの野球をして勝つ」という目標を立てました。その目標を達成するために、今大会での悔しさを、今、冬のキツイ練習にぶつけています。これからも日々努力を重ねてまいります。

どうか今年も、応援をよろしくお願いいたします。

## 平成 21 年度 大会 報告

## 文化部

- ◎放送 第 56 回 N H K 杯 高校放送コンテスト新潟県大会 兼 第 50 回 新潟県高校放送コンテスト  
朗読部門 2 位 小澤海咲 3 位 入倉友紀 4 位 工藤優衣  
アナウンス部門 2 位 古山沙織 4 位 五十嵐南美 5 位 平山知加子  
テレビドキュメント部門 3 位 「この一瞬を、永遠に」  
テレビドラマ部門 3 位 「Beginning Journey」  
ラジオドラマ部門 3 位 「Turning Point ～本当に大切なもの～」  
第 29 回 Q K 杯 校内放送コンクール 兼 第 22 回 新潟県高等学校放送コンクール  
朗読部門 1 位 小澤海咲 3 位 石附 愛  
アナウンス部門 3 位 宮本 大 5 位 宮本真理子 6 位 松尾正樹  
テレビ番組部門 3 位 「大好き！！」
- ◎写真 新潟県高等学校総合文化祭第 23 回写真専門部展  
モノクロ部門優秀賞 (全国大会出品作品) 「あでやか 3 人組」高橋彩佳
- ◎吹奏楽 第 50 回 新潟県吹奏楽コンクール  
高等学校 B の部 銀賞  
第 33 回 新潟県アンサンブルコンテスト  
打楽器 6 重奏 銀賞



- ◎演劇 下越地区 (B) 演劇発表会 優秀賞  
新潟県高等学校総合文化祭演劇発表会 優良賞
- ◎囲碁 春季県大会 男子団体 優勝 全国大会出場  
個人 B ブロック 2 位 堀 亞洲  
秋季県大会 個人 B ブロック 1 位 布施拓也 2 位 坪川滉哉 3 位 堀 亞洲  
C ブロック 3 位 山本 惇
- ◎美術 全国高等学校総合文化祭 美術・工芸展 (三重県) 平面部門 涌井涼司  
新潟県高等学校総合文化祭 美術・工芸展  
絵画部門 田中 梓、海老名千晴、五十嵐桃子、吉澤優子、橘 里菜、相澤千尋  
彫刻部門 上原由理亜、清水真衣子、池田優香、齋藤梨奈、金子さくら
- ◎書道 成田山全国競書大会 漢字部門 推薦日輪賞 久須美裕子  
漢字部門 特選月輪賞 上杉 憲 齋藤千佳子 有田優理香  
かな部門 推薦日輪賞 久須美裕子  
半紙部門 推薦日輪賞 久須美裕子  
全国高校生大学生書道展 優秀賞 久須美裕子  
国際高校生選抜書展 入選 上杉 憲 近菜々子 齋藤千佳子 久須美裕子 田代智大  
高校生国際美術展 奨励賞 本田 凧  
新潟県競書大会 新潟県知事賞 (最高賞) 久須美裕子 (かな)  
特選 上杉 憲 (漢かな) 堀 孝哉 (漢かな) 堀 孝哉 (かな)  
特選 近菜々子 種子幸奈 菅井郁美 津野佑実華  
新大全国競書大会 新潟大学長賞 (最高賞) 久須美裕子  
教育学部長賞 (第 2 席) 堀 孝哉  
新潟市芸術文化振興財団賞 近菜々子  
朝日新聞新潟総局賞 齋藤千佳子  
特選 種子幸奈
- 新潟県高等学校文化祭  
久須美裕子 (全国高文祭へ)  
上杉 憲 齋藤千佳子 松川 慧 近菜々子 湯田佳菜絵
- ◎将棋 男子団体 2 位 新潟高校 B チーム  
男子団体 3 位 新潟高校 A チーム  
男子個人 4 位 池浩一郎
- ◎合唱 N H K 全国学校音楽コンクール 新潟県大会 高校生の部 奨励賞

平成 20 年度青山同窓会収支決算書  
(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 3 月 31 日)

平成 21 年度青山同窓会収支予算書  
(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日)

(単位:円)

(単位:円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 備考. Rows include I 収入の部 (前年度繰越金, 雑収入, etc.) and II 支出の部 (総会費, 新年会費, etc.).

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include I 収入の部 (繰越金, 名簿等会計等, etc.) and II 支出の部 (総会費, 新年会費, etc.).

平成 21 年 4 月 3 日 上記の通り相違ないことを確認します。

監事 江口 良助 @  
監事 渡辺 国夫 @

指定寄付金受け入れのお知らせ(感謝)

幹事長 富山修一 (75回)

この度、故片桐武昭様(55回)のご遺族より新潟高校野球部を指定した寄付金100万円を頂きました。お話によりまずと故人は生前より野球部への寄付を希望されておられた由。きっと素晴らしい思い出があったのだろうと拝察いたしました。一旦、同窓会会計に繰り入れました後、野球部に同額を寄付しました事を報告いたします。

振り込み詐欺に注意

平成21年7月25日頃から新潟高校卒業生家族の自宅に、子どもの名前を騙ってお金の振り込みを要求する「振り込み詐欺」が複数発生しています。事実の確認をするなど、お金の振り込み要求には十分ご注意ください。

青山同窓会費納入についてのご案内

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまうとさせていただきます。是非、お忘れなくお振り込みくださいますようお願い申し上げます。なお、会費は年会費(四月一日〜翌年三月三十一日)となっております。

年会費 一口一、〇〇〇円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 00650-7-4455 青山同窓会  
通信制 00530-1-74207 青山通教部会

同期会を開催される期の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙としてA4サイズが入る角2の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願ひします。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は八〇〇字から一〇〇〇字の間で書いて下さるようお願いいたします。一〇〇〇字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合がありますのでよろしくお願ひします。

表紙題字：小川 和恵 (101回) イラスト：地主 憲夫 (68回)



70 川 浅安五	71 川 達嵐口	72 井 田井	73 池 石伊猪	74 今 岩歌江	75 大 大小	76 小 小貝笠	77 風 加加	78 金 金川	79 川 川久栗	80 桑 桑小	81 小 小近	82 近 齋齋	83 齋 齋酒坂	84 佐 佐塩	85 志 志品	86 菅 菅杉	87 鈴 鈴関	88 高 高尾	89 高 高瀧	90 田 田田	91 鶴 鶴弦	92 出 出内	93 中 中新	94 西 西能	95 野 野橋	96 花 花馬	97 坂 坂日	98 平 平伏	99 藤 藤本	00 增 增
一史也里	健礼好幸	井田井	石伊猪	今岩歌江	大小小	小小貝笠	風加加	金金川	川川久栗	桑桑小	小小近	近齋齋	齋齋酒坂	佐佐塩	志志品	菅菅杉	鈴鈴関	高高尾	高高瀧	田田田	鶴鶴弦	出出内	中中新	西西能	野野橋	花花馬	坂坂日	平平伏	藤藤本	增增
洋隆健	里正子	田井	伊猪	岩歌江	大小	小貝笠	加加	金川	川久栗	桑小	小近	齋齋	齋酒坂	佐塩	志品	菅杉	鈴関	高尾	高瀧	田田	鶴弦	出内	中新	西能	野橋	花馬	坂日	平伏	藤本	增
里正子	允孝昭	井田	猪	歌江	大小	貝笠	加	川	久栗	小	近	齋	酒坂	塩	品	杉	関	尾	瀧	田	弦	内	新	能	橋	馬	日	伏	本	
正子	孝昭	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
二允孝	昭一夫	井田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
允孝	昭一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
孝昭	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
昭一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日	伏	本	
一夫	一夫	田	猪	江	大小	笠			栗	小			坂									中	新	能	橋	馬	日			



平成 21 年度 (H 21. 4. 1 ~ H 22. 3. 31)

青山同窓会会費納入者

(4 月より 9 月末まで納入のもの)

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎月お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。本年度未納の方は是非 3 月までにお振り込みください。誠に申し訳ございません。誠に申し訳ございません。誠に申し訳ございません。

平成 22 年度会費納入のお願いと振込用紙は、平成 22 年度総会のご案内と一緒に郵送いたします。1 口 1,000 円。できるだけ 2 口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座 全日制 00650-7-4455 青山同窓会 通信制 00530-1-74207 青山通教部会

Table with 4 columns: 全日制 (All-day), 46回S 14年 (46th S 14th year), 51回S 19年 (51st S 19th year), and 50回S 18年 (50th S 18th year). Each column lists names of members.

Main table with 10 columns listing names of members, organized by year groups (e.g., 隆年, 義昭, 渡石, etc.).